

教材 6 いろいろなことば

・ことばとは何か、イメージマップを使ってとらえ方を広げていく。ここでは、単に〇〇語といった「言語」に限らず、非言語的なメッセージも含めた、広義のコミュニケーションの在り方を問う。また、非言語コミュニケーションを体験することにより、人と人の関わりには「言語」以外のものが活用されていることに気づきたい。

ねらい : ことばのイメージを広げ、新たな言語観につなげる。

対象 : 小学校高学年以上

所要時間 : A.20 分～45 分
B.45 分

準備 : A.イメージマップをかくワークシート

進め方 : A.「ことば」というキーワードを中心に書き、そこからイメージするものを自由にマップ上に広げていく。グループや全体で交流する。

B.ペアになり、あるメッセージを、三段階で相手に伝える。

例：メッセージ「のどが渴いたので、私に水筒の水を分けてください」

ステップ 1 : アイコンタクトのみで伝える。

ステップ 2 : 表情だけで伝える。

ステップ 3 : ジェスチャーだけで伝える。

その後、相手の言いたいことがどのくらい伝わったか、振り返りをする。

留意点 : A.ことばのイメージが広がらない時は、指導者がいくつか例を示す。

B.メッセージは、すべてのペアで同じでもよいし、一人一人お題を変えてもよい。学習者の実態に応じる。

発展 : B. 身体的な非言語メッセージだけでなく、書かれた文字の調子や色、形などから伝わってくるメッセージを考えてみる活動も面白い。別章参照。

ワークシート

年 組 番 ()

ことば

どんなことば（伝え方）を見つけたかな

[illegible]